

岩手県共同募金会からのお知らせ



赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい運動へのご協力ありがとうございました

令和3年度の赤い羽根共同募金運動は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、街頭募金やイベント募金などを中止、縮小する市町村が見られましたが、多くの県民の皆様のご協力により、一般募金、歳末たすけあい募金を合わせて、3億3,000万円余り（暫定額）お寄せいただきました。

県民の皆様からの心温まるご寄付に、心から感謝申し上げます。

皆様からお寄せいただいた募金は、皆様がお住いの市町村の地域福祉活動のほか、社会福祉施設の施設設備整備、町内会での福祉活動などに生かされていきます。

募金運動を行った市町村共同募金委員会からは、「寄付金付き商品の取組を実施したことで、募金増額につながった」「募金に取り組む学校が増加した」「オリジナルピンバッジを作ったことで、募金額が増加した」という声が上がってきています。

引き続き、共同募金運動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

「令和3年度 赤い羽根新型コロナ感染下の福祉活動応援 全国キャンペーン助成事業」を実施しました

岩手県共同募金会は、令和2年度に引き続き、中央共同募金会と協働し、新型コロナウイルス感染症の影響下における福祉活動を応援するため、食支援、学習支援、居場所支援などの生活課題を支援する団体への助成と募金活動を実施しました。

助成を受けたのは子ども食堂や配食事業などを実施している県内の14団体で、助成の総額は340万円となりました。

ここで、助成を受けた団体の活動について紹介します。

ここかむ食堂を利用しているひとり親家庭等のための配食事業 (矢巾町母子寡婦福祉協会)

ここかむ食堂は、平成29年1月から開催しているコミュニティ食堂で、ひとり親世帯など、子育て世帯を中心とした「大人の居場所」「子どもの居場所」として定着しています。

コロナ禍のため、以前のような会食形式ではなく、令和2年5月から現在まで手作りお弁当のテイクアウトを行っており、この事業の実施期間である令和3年6月から12月までの半年間で、延べ559人を対象に配食を実施することができました。また、令和3年12月には、生活に困りごとのある子育て世帯に、食料品の無料配布を行いました。

テイクアウト形式にしたことで、受け渡しの際には個別に親子との会話の時間を持つことができ、仕事や子育てに奮闘している母親の孤立を防ぎ、「心の居場所」として成果を上げることができました。



参加者の声

- いつもおいしいお弁当を作っただき、ありがとうございます。毎回これが私にとっての楽しみです(10代)
- ぼくの好きな肉や野菜がいっぱいつまっていたうれしいです。いつもありがとうございます(9歳)
- 早くコロナが落ち着いて以前のような食堂が開催できるのを願っています(40代)

